

目 次

第1章 第23回汚職防止刑事司法支援研修

「高度情報化・国際化社会における汚職の新たな脅威とその対処」

<研修参加者の論文>

パレスチナの各種情報源から汚職事件を摘発するための効果的方法

ラシャ・アマルネ（パレスチナ）…………… 2

第2章 第175回国際研修

「女性犯罪者の処遇」

<客員専門家の論文>

ジェンダーに対応したアプローチ

ステファニー・S・コビントン博士

（米国 関係発達研究所及びジェンダー・司法センター共同代表）……………10

<研修参加者の論文>

シンガポールの女性犯罪者の更生と社会復帰の支援のためのジェンダーに対応した
取組

ヌラ・アシュキン・ハムザ

（シンガポール（ASEAN共同体からの参加者））……………20

第3章 第176回国際研修

「包摂的な社会に向けた刑事司法」

<研修参加者の論文>

スリランカの刑事司法制度における近代的な技術メカニズムと二次被害を最小限に
抑えるための対策の採用 裁判制度に重点を置いて

ウダラ・カルナティラカ（スリランカ）……………26

第4章 第177回国際高官セミナー

「再犯防止のための多機関連携と官民協働」

<客員専門家の論文>

犯罪者の更生と再犯防止のための社会内刑罰

ウィル・ヒューズ博士

(英国 ロンドンメトロポリタン大学犯罪学上級講師)36

効果的な犯罪者の監督及び支援に関する多機関連携アプローチ

ウィル・ヒューズ博士

(英国 ロンドンメトロポリタン大学犯罪学上級講師)49

<セミナー参加者の論文>

社会復帰という観点から見たスリランカにおける代替的な量刑とその課題

ナヨミ・ウィクラマセケラ (スリランカ)63

更生保護施設を超えて：機会を生み出す連帯

ディサヤ・ミーピエン (タイ)69

第5章 第1回包摂的社会研修

「児童を含む犯罪被害者の権利保護」

<客員専門家の論文>

国際被害者学の昨日・今日・明日

ジョン・P・J・ドゥーシッチ博士

(米国 カリフォルニア大学フレスノ校名誉教授)76

<研修参加者の論文>

犯罪被害者の権利の擁護：フィリピンの立場

ジゼル・マリー・S・ジェロニモ (フィリピン) 127

第6章 第178回国際研修

「サイバー犯罪－電子証拠が問題となるあらゆる形態の犯罪」

<研修参加者の論文>

サイバー犯罪と電子証拠：ナイジェリア警察の展望

オルソジ・アブラハム・オビデイ（ナイジェリア）…………… 136

第7章 特別掲載資料

保護観察－なぜ？ どうやって？

ジャクリーン・ボスカー、レオ・ティゲス、ルネ・ヘンスケンス…………… 143